

平成 29 年度 事業報告書

平成 29 年度(公)熱海市シルバー人材センターの請負・委託契約実績は、全体として微増しており、28 年度は 131,126 千円であったところ 29 年度は 131,266 千円となり、前年に比較して 139 千円増額となりました。

一方、契約実績には反映されませんが、本年度の派遣業務において、公共における選挙事務や公共施設の管理業務、民間の清掃会社などに会員 39 名、延べ 1,297 人派遣しており、前年度と比較して延べ 424 人増加しております。派遣法の成立以来、該当する業務において「臨」「短」「軽」の制約がある中で、シルバー人材センター会員の就労する業務の充実が認められます。

今後、業種によっては「臨」「短」「軽」の制約が取り払われる場合もあり、少しずつではあっても会員の就労機会が広がっていくと考えられます。

会員数は、平成 25 年度末 324 人・平成 26 年度末 300 人・平成 27 年度末は 323 人・平成 28 年度末は 296 人というように、毎年減少していましたが、平成 27 年度末は増加したものの、29 年度末では 287 人となりました。

このことにつきましては、年金支給年齢の引き上げによる 60 歳定年の延長と再雇用制度の拡充・高年齢者の価値観の多様化など、社会的要因が原因と考えられ、さらに加齢・会費未納などで退会となる会員が多く、会員増加については苦慮しているところです。

委員会活動については、広報委員会における年 3 回の「シルバーだより」年 1 回「シルバーあたま」の発行、安全委員会による安全パトロール・安全運転診断、業務委員会によるボランティア清掃・就労開拓チラシの配布など活発な活動が行われました。

(公)熱海市シルバー人材センターは「高齢者法」に基づく高年齢者の「いきがい・社会参加」を確保し「地域の活性化・発展」を目指すことが目的であり、今後到来する超高齢化社会にあっても、知恵を絞り、さまざまな方法で就労開拓と会員拡大に努め、働く事を通じて会員の自主・自立・共助を促し、「高齢者法」の目的が達成されるよう、健全なる運営を目指してまいります。